

地域連携の取り組み ～地域でつながる健幸づくりフェア in 卸町に参加して～

東北医科薬科大学若林病院
管理栄養士 高山 ひかり

1. はじめに

当院、栄養管理部は糖尿病チームをはじめ、様々なチームの一員として栄養面でサポート、支援を行っている。チームの一員としてイベントの企画・運営に携わったり、地域連携室と連携し地域のイベントに参加したりしている。

糖尿病チームは医師、看護師、管理栄養士をはじめ多職種で毎月チームカンファレンスを行い、糖尿病の診療や運営、糖尿病関連のイベント企画・運営などをしている。

糖尿病チームの活動目標の一つに地域連携の推進をあげており、地域連携の一環として糖尿病チームの一員としてイオンスタイル仙台卸町にて開催された「地域でつながる健幸づくりフェア in 卸町」に管理栄養士が参加したので活動を報告する。

2. 事前準備

毎月行っている糖尿病チームカンファレンス内でイベントの打ち合わせを行った。

打ち合わせ回数：4回

打ち合わせ内容：どのような内容でやるのか

- 全体スケジュールの把握
- 参加者個人のタイムスケジュールの確認
- 相談コーナーや講話の担当者の確認
- 物品の確認
- 当日の配置の確認

3. 実施内容

イベント名：「地域でつながる健幸づくりフェア in 卸町」

日時：2023年10月14日(土) 10:00～16:00(最終受付 15:30)

会場：イオンスタイル仙台卸町 1階催事場

参加費：無料

内容：当院や仙台市健康増進センターなど4団体が各種ブースを出展し血圧、血管年齢、握力、体組成の測定、相談コーナーにて健康、口腔ケアなどの相談会、ステージにて健康づくりに関する講話、を行った。

当院は、血糖測定体験コーナーを4ブース設置、医師、歯科医師の相談コーナーを各1ブース設置、管理栄養士の相談コーナーを2ブース設置し相談会を行った。

また、ステージでは椅子を18脚用意し、医師より「健康寿命を延ばすためにはどうするか」、「糖尿病ミニマム教室～これを知つていれば健康を守れます～」歯科医師より「糖尿病と歯周病」、管理栄養士より「減塩～エコな塩分摂取を心がけよう～」という題材で25分程度の講話を行った。

4. 実績報告

全体の来場者数は781名であった。

下記の表は、当院コーナーの参加人数

	内容	参加人数(名)
血糖測定コーナー	血糖測定	153
相談コーナー	医師ブース	14
	歯科医師ブース	8
	管理栄養士ブース	23
合計		198

相談コーナーの管理栄養士ブースでの相談内容

- ・血糖、コレステロール、血圧などが高めなので食事はどうしたらいいか(11名)
- ・減量するためにはどうしたらいいのか(4名)
- ・体重が減ってきてるので増やすにはどうしたらいいのか(3名)
- ・食事は何を食べたらいいのか(2名)
- ・間食や菓子パンをよく食べてしまうどうしたらいいのか(1名)
- ・既製品を食べても大丈夫なのか(1名)
- ・一人暮らしで耳が聞こえにくくなつて食事もあまり摂れなくなつて心配(1名)

下記の表は、当院講話の参加人数

時間	職種	内容	参加人数(名)
10:30～11:00	医師	健康寿命を延ばすためにどうするか	19
11:30～12:00	歯科医師	糖尿病と歯周病	15
13:00～13:30	医師	糖尿病ミニマム教室 ～これを知っていれば健康を守れます～	22
14:00～14:30	管理栄養士	減塩～エコな塩分摂取を心がけよう～	12

5. 糖尿病チームでの振り返り

イベント終了後、スタッフの振り返りとしてアンケートを実施し、糖尿病チームカンファレンス内で意見や反省点などの共有を行った。

良かったこと

- ・ たくさんの方に来場いただいた
- ・ 事前準備をしっかりしていたので来場者の誘導や案内をトラブルなく行えた
- ・ 多職種が連携し一致団結してスムーズに運営できた

気になったこと

- ・ 講演中に相談コーナーで相談している方は講演を聞くことが出来なかつた
- ・ 会場が思ったよりも狭かった
- ・ 運動の相談コーナーもあればよかったと思う
- ・ 講演のスクリーンが小さかったので高齢者など見えにくかったようである
- ・ 会場内に人が多く案内役がどこにいるのか分からなくなってしまったことがあった
- ・ 周りの音がうるさくてお客様の声が聞こえにくかった
- ・ 血糖測定コーナーの集客が多かったのでフロアの配置をもっと考慮すればよかった

今後の課題・やりたいこと

- ・ 血糖測定記入用紙の説明が専門的だったかもしれないのでもっと分かりやすい文言に検討をしたい
- ・ 今回は高齢者の来場が多かったが、20～40歳代の糖尿病予防の啓蒙活

動が出来るとよい

- ・ 講演会もよいが血糖測定以外の体験型ブースもやってみたい
- ・ イベント限定のコラボ弁当など用意してみるのも良いのでは
- ・ コロナ後初のイベント参加だったのでイベント初参加者が多く、事務局への負担が大きかったので事務局のフォローをチーム皆で出来るようにしたい

6. まとめ

糖尿病チーム内で事前打ち合わせをしっかり行うことで、たくさんの方に来場して頂いたがトラブルなくスムーズにイベントを行うことができた。イベント終了後もチーム内で反省会をすることで次回に向けての課題が明らかになった。これらのことにより、チーム内で情報共有をすることやコミュニケーションをとることでより良いパフォーマンスを行えるようになるのだと実感した。また、日々の診療でも多職種で情報共有することが重要なのだと感じた。

管理栄養士ブースでは糖尿病の食事に限らず、様々な食生活の悩みやメディアなどで得た情報がっているのかなどの相談を受け、食生活を整えるためのアドバイスを行い、健康を維持するためのサポートをすることができた。

今後、また機会があれば参加し健康の維持、生活習慣病の予防に貢献したい。